

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-210	小学校	道徳科	道徳	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 314	どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき		

▶ 1. 編修の基本方針

これからの時代を生き抜く 子どもたちのために。

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、

これからの学校には、一人一人の児童が、

- ・自分のよさや可能性を認める
 - ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
 - ・多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
 - ・豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる
- ことが求められています。

私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。



特色

1

主体的な学びを支える

...

主体的に学びに向かうことができるよう、道徳科は何を学ぶ教科なのかを、一人一人がしっかりと自覚できるようにしました。また、1年間の学びを見渡し、どのように学ばよいかを、丁寧に示しました。



特色

2

対話から生まれる「気づき」を楽しむ

...

道徳的価値に関わる話題で話し合うことは楽しいと実感できるように、普段から、道徳的な話題で話し合い活動に取り組んでみようと誘いました。対話を重ねることで、新たな考えに気づき、自分を見つめられるように工夫しました。



特色

3

現代的な課題と向き合う心を育む

...

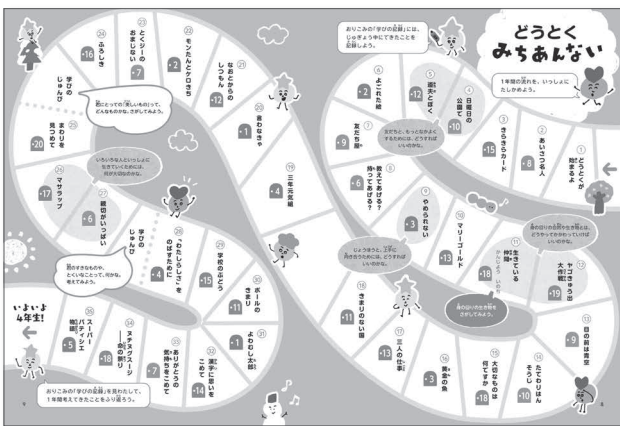
現代的な課題と道徳の学びを結び付けられるようにしました。これからの時代を生き抜いていく児童が、現実にある課題を意識し、自分の生き方と関わらせながら、考えを深めることができます。

特色 1 主体的な学びを支える

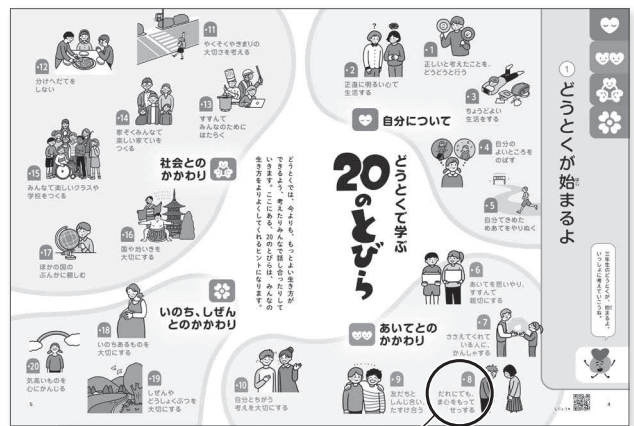
✓ 第1教材 「①どうとくが始まるよ」

何を学ぶのかがわかる

- ・第1教材では、これから1年間、道徳科で何を学んでいくのかをはっきりと意識できるように示しました。
- ・20の内容項目を、20のとびらになぞらえ紹介しました。各教材の冒頭に、内容項目をとびらのマークと共に提示することで、今日の1時間には、何について考えるのかを自覚できます。
- ・「どうとくみちあんない」では、期待感をもって1年間の学びを見通せるような紙面としました。このページで、ユニット(p.4参照)の位置や、事前に学習しておくことが有効な教材について、確認することができます。



p.8-9



p.4-5



教材冒頭に、内容項目のとびらを提示しています。

✓ 第2教材 「②あいさつ名人」

どうやって学ぶのかがわかる

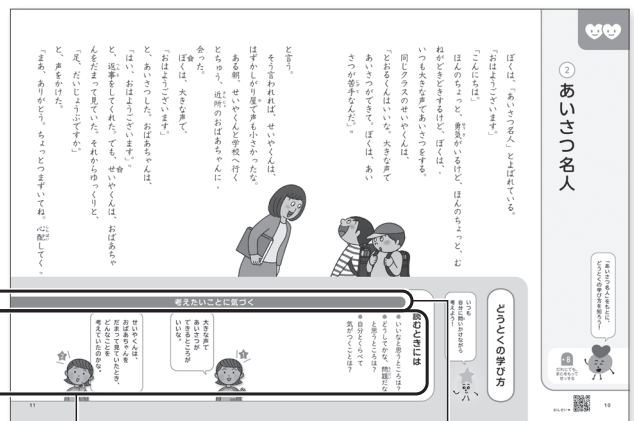
- ・第2教材では、教材に沿って、道徳の学び方を示しました。教材と向き合ったとき、思わず生まれる問いを大切に、教材との対話、他者との対話、自分との対話が意識できるように示しています。また、「考えたいことに気づく」「よりよい生き方について考える」「学んだことをつなげる」という、学びのステップも示しています。

p.12-13



他者との対話、自分との対話

p.10-11



教材との対話

学びのステップ

✓ みんなで気持ちよく話し合うためのこつ

相手の考えを丁寧に受け止める

- ・多様な他者と対話することで、初めて気づけることがあります。広がる世界があります。その対話を円滑に進めるための取り組み方を示しました。
- ・第1教材の中で、「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を紹介しています。この「こつ」では、相手の存在や意見を受け止めることに重点を置いています。この「こつ」を試しながら、「やってみよう」に挑戦します。気持ちよくみんなで話し合うことで、新たな「気づき」が生まれることを知り、道徳科の学びをスタートすることができます。



p.6-7 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」

✓ 「考える」じゅんびたいそう

みんなで話し合うことの楽しさを味わう

- ・4月に、みんなで気持ちよく話し合う「こつ」を意識した児童が、9月に『『考える』じゅんびたいそう』に出会います。普段から対話の楽しさを味わえるような機会をつくろうという試みです。
- ・ここでは、対話しながら道徳的価値についての考えを深めていくための、対話の練習を促しています。さまざまなテーマを巡って、互いの考えを理解し合おうとする過程を積み重ねることで、問い合うことの楽しさを味わってもらいたいと願っています。
- ・日々の生活の中で取り組むことで、児童の話し合いに対する意識も変わっていくことをねらっています。



p.72-73 『『考える』じゅんびたいそう』

✓ 家の人といっしょに考えてほしいこと

授業で考えたことを、家の人とも話し合う

- ・授業で道徳的価値について考えたことを、家庭でも話し合ってもらいたいと、家庭との連携を促すマークを示しました。
- ・特に「情報モラル」に関わる話題は、家庭と協力して考えていくことが効果的な課題です。保護者といっしょに、情報機器との関わりについて考えてほしいと思います。



p.32-33 『『ぼかぼか言葉』をかけてなかよくなる』

✓ 「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」

ユニットで、テーマを探求する

- ・現代的な課題として重要とされる「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマを取り上げ、教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を構成しました。
- ・コラムでは、課題を自分のこととして受け止め、自己の生き方についての考えを深められるよう配慮しました。



▶ 2. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

全ての児童にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育等への配慮

- ・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。
- ・必要に応じて、挿絵に登場人物の名前を添えることで、挿絵に描かれた人物が、本文にあるどの登場人物を表しているのか、わかりやすくしました。

人権上の配慮

- ・教科書全体において、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別の偏りがなく、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、記述には十分配慮しています。また、人権教育の専門家に全面的な校閲をお願いしました。

学習上の配慮

[判型について]

- ・B5判より横幅を10ミリ広くすることで、持ち運びや

すいサイズのまま、文字や挿絵を大きく示しています。児童の負担を最小限に抑えるよう配慮しました。

[文字について]

- ・文字の大きさは、発達の段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。
- ・本文は、ユニバーサルデザインにも配慮した、オリジナルの教科書体活字を用いました。

[表記について]

- ・当該学年の配当漢字には、全て振り仮名を付しました。
- ・読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため、当該学年より上の学年の配当漢字が掲出される場合には、その全ての漢字に、振り仮名を付しました。

[文章の区切りについて]

- ・てびきの問いは、意味のまとまりで改行することで、児童が問われていることの意味をつかみやすくなりました。

▶ 3. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁		
教材	巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった児童へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1		
	1 どうとくが始まるよ	真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、道徳の時間に行うさまざまな活動や学びを紹介する中で、疑問を追求していく態度や、他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの重要性を感じることができるような教材を配置した。	第一号、第二号	4-9		
	9 やめられない	豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	49-53		
	16 黄金の魚			85-90		
	25 まわりを見つめて			124-126		
	32 漢字に思いをこめて			153-156		
	19 三年元気組	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	100-103		
	28 「わたしらしさ」をのぼすために			136-139		
	6 よごれた絵	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	28-31		
	20 言わなきや			104-106		
	22 モンたんとかろきち			110-114		
	31 よわむし太郎			148-152		
	35 スーパーバティシエ物語			168-171		
	2 あいさつ名人			自身の生活と社会との関連を意識しながら、社会に奉仕し働くことを尊ぶとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	10-13
	10 マリーゴールド	56-59				
	17 三人の仕事	91-93				
	23 とくじーのおまじない	115-118				
	29 学校のぶどう	140-143				
	33 ありがとうの気持ちをこめて	157-161				
	3 きらきらカード	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号			14-17
	4 日曜日の公園で					18-21
	5 道夫とぼく					22-25
	7 友だち屋					34-43
	8 教えてあげる？ 持ってあげる？			44-47		
	13 目の前は青空			74-77		
	14 たてわりはんそうじ			78-81		
	18 きまりのない国			94-97		
	21 なおとからのしつもん			107-109		
	27 親切がいっぱい			132-133		
	30 ボールのきまり	144-147				
	11 生きている仲間	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	60-63		
	12 ヤギきゅう出大作戦			65-69		
	15 大切なものは何ですか			82-84		
	34 ヌチヌグスージ —命の祭り			162-167		
24 ふろしき	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、児童の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	119-123			
26 マサラップ			127-131			
特設ページ	〈心を通わそう〉 「ほかほか言葉」をかけてなかよくなるよう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、互いの価値を尊重しながら温かい人間関係が築けるようなページを設けた。	第一号、第二号	32-33		
	かんじよう いのち	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切にすることを養うことができるようなページを設けた。	第四号	64		
	「考える」じゅんびたいそう	さまざまなテーマを基に、他者を尊重しながら意見を交流し、真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重して能力を伸ばすことができるような、対話活動のページを設けた。	第一号、第二号	72-73		
	なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	98-99		
	〈ふろく〉 日本につたわる「くらしの道具」	教材と関連して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	174-175		
	学びの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返り、記録するページを設けた。	第二号	折り込み		

編修趣意書

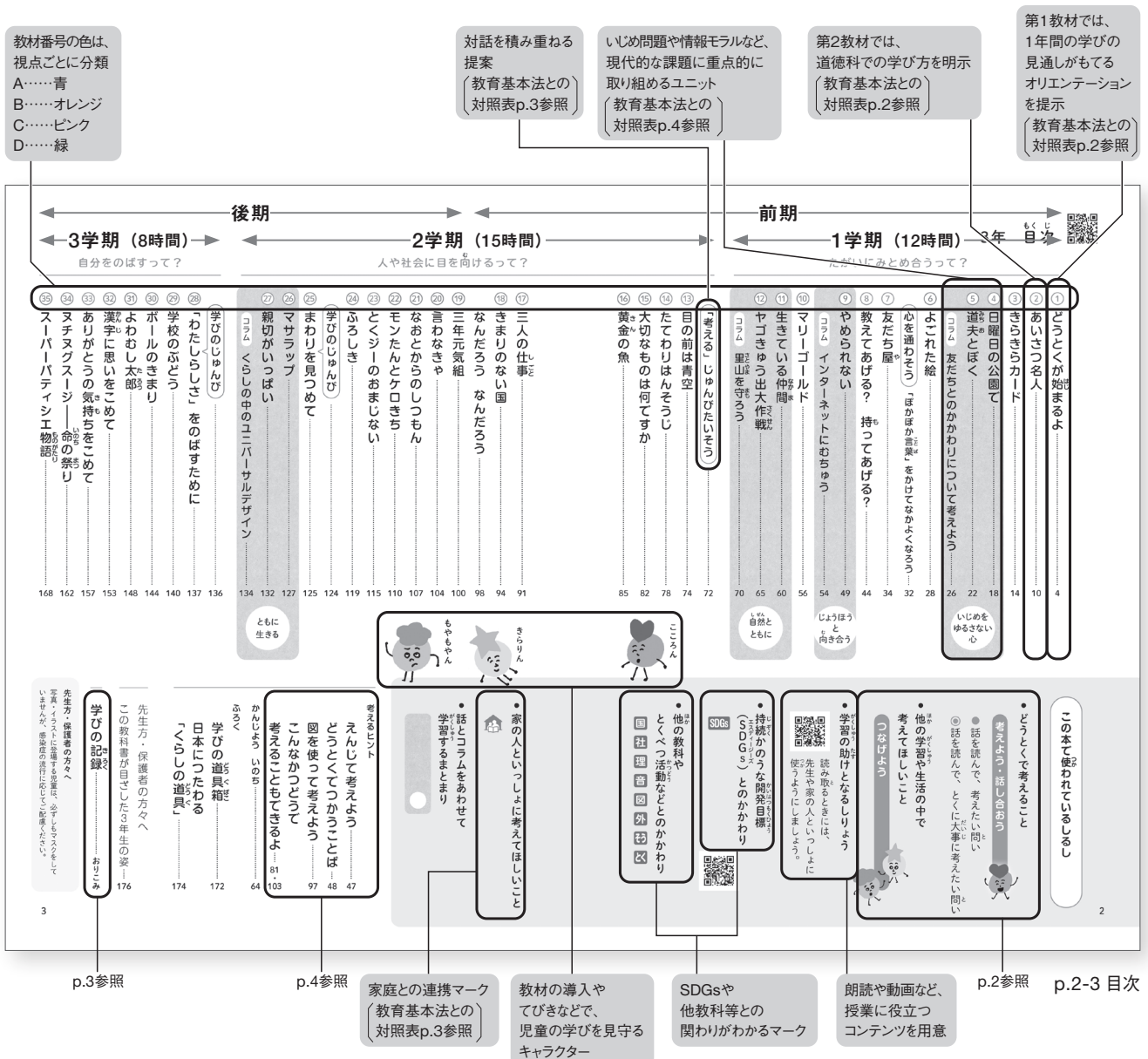
学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-210	小学校	道徳科	道徳	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 314	どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき		

▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 児童が主体的に道徳性を養うことができる年間構成

児童の発達の段階や内容項目の特質に鑑み、1年間の学びを通じて、児童が着実に道徳性を養えるような構成を目指しました。



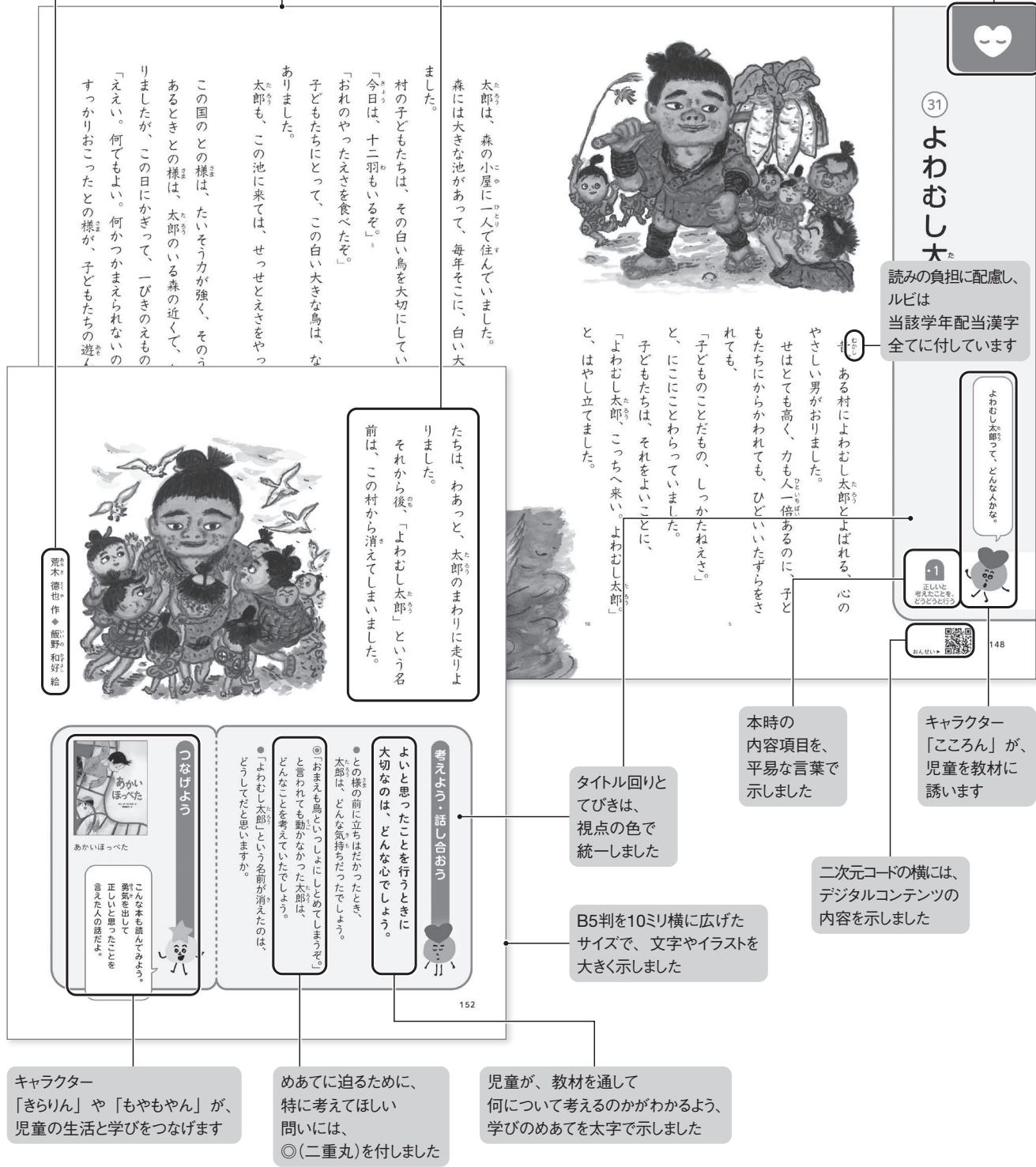
教材には、1時間の学びの道筋を示した「てびき」を用意し、ユニバーサルデザインや特別支援教育などの観点から、見やすく読みやすい紙面にしました。

著作者を明示し、著作権についての意識づけを図ります

環境に配慮した紙に、植物性インキを用いて印刷しています

本文は、ユニバーサルデザインにも配慮したオリジナルの教科書体活字を採用しています

形と色で判別できる視点マーク



特色 3 児童自らが道徳性を養っていけるように

✓ 児童一人一人の道徳的な価値観を耕し広げる教材群

・児童の心にストレートに飛び込む読み物教材、場面ごとに考えていく教材や一枚絵を主とした教材など、児童が多面的・多角的に考えられる多様な教材を用意しました。



p.34-43 「⑦友だち屋」

p.132-133 「⑳親切がいっぱい」

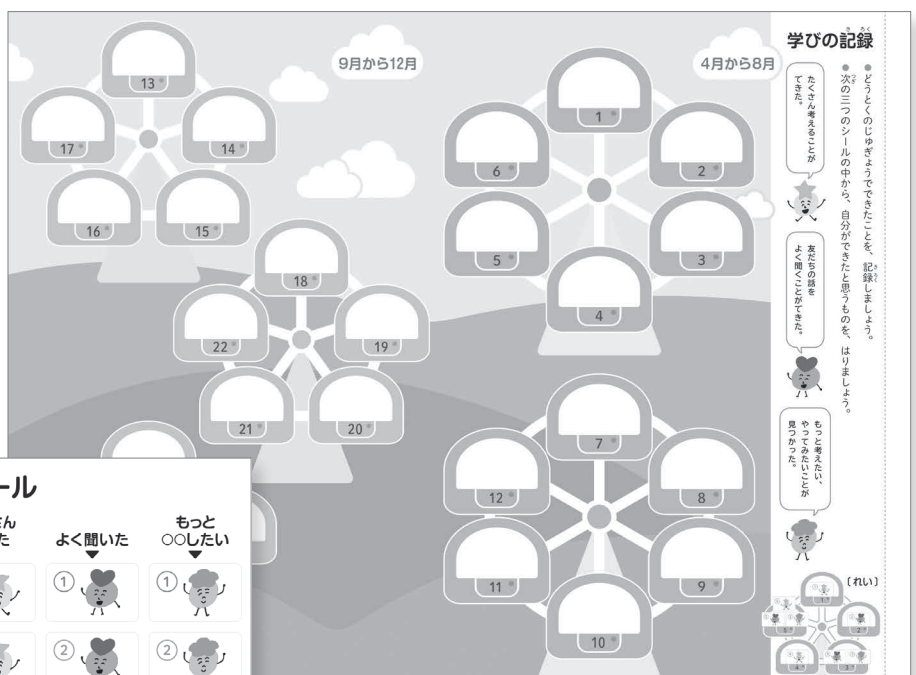


p.44-47

「⑧教えてあげる？ 持ってあげる？」

✓ 1時間ごとの振り返りを記録し、1年の学びを振り返る

・巻末の折り込みには、シールを貼る活動を通して1時間ごとの学びを振り返るシートを用意しました。1年間の学びが1枚で見渡せ、児童自身はもちろん、先生や保護者も児童の成長や変化を確認することができます。



巻末 折り込み「学びの記録」

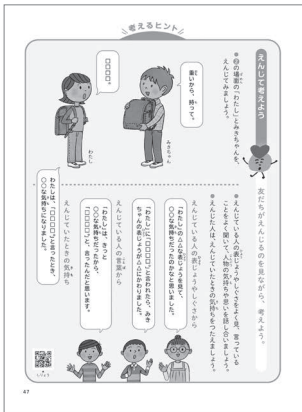


巻末「学びの記録シール」

多様な学習活動で児童の学びを深める「考えるヒント」

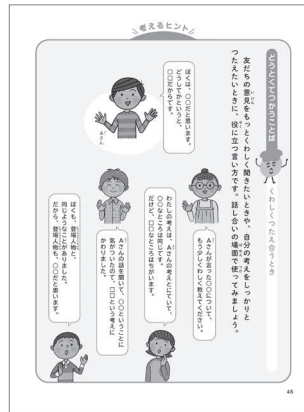
・深い学びへと誘うために、さまざまな学習活動を提案し、豊かな学びにつなげられるように工夫しました。

役割演技の提案



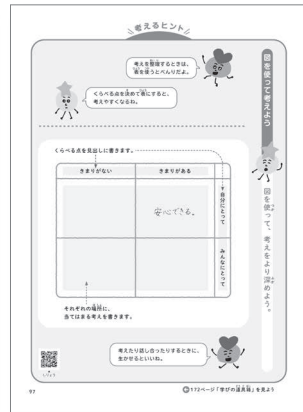
p.47 「えんじて考えよう」

話し合いで役に立つ言葉の紹介



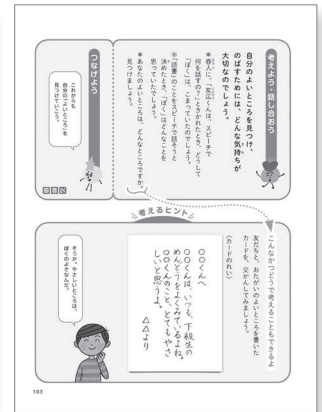
p.48 「どうとくでつかうことば」

思考ツールを活用する提案



p.97 「図を使って考えよう」

カードを使った交流の提案



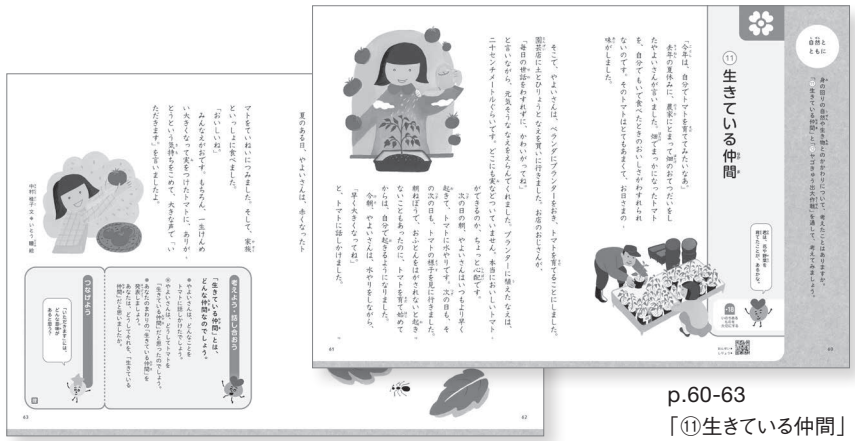
p.103 「こんなかつどうで考えることもできるよ」

自分に引き寄せて考えることができる「かんじよう いのち」



p.64 「かんじよう いのち」

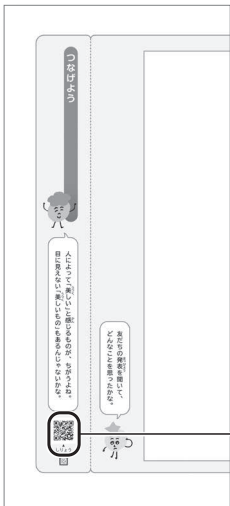
・「生命の尊さ」に重点を置き、1年間に3つの教材を用意しています。その中の1つに、児童が、生命の尊さを実感できるような活動として、「かんじよう いのち」を提案しています。



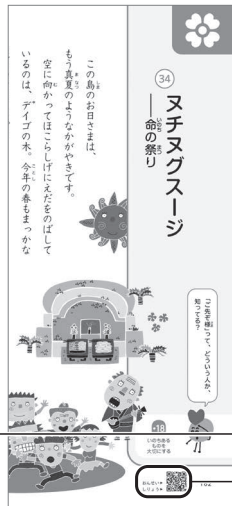
p.60-63 「①生きている仲間」

児童の思考を広げ深めるデジタルコンテンツ

表4




p.124-126 「②まわりを見つめて」



p.162-167 「③ヌチヌグスージ——命の祭り」

【この教科書をつかうみなさんへ】
 ここでは、みんなで考えたい大切なことをたしかめることができます。読みとるときには、かならず、先生やおうちの方といっしょに行いましょう。

- タブレットなどをつかうときは
- かんせんしょうたいさく
- ぼうさい
- SDGs（エスディージーズ）
- 学校でつかう日本語



・二次元コードが付してある教材には、授業の中で活用できる動画などの資料や、臨場感あふれる朗読など、児童が興味、関心をもって視聴できるコンテンツを用意しています。また、家庭との連携の観点から、新しい生活様式や防災、SDGsに関わることなど、他教科や日常生活にも関連するコンテンツを併せて用意しています。

「②まわりを見つめて」では、全国各地の児童が見つけた「美しいもの」の写真を、「③ヌチヌグスージ——命の祭り」では、朗読と沖縄のお墓の様子がわかる写真と説明を、参照することができます

2. 対照表

図書の内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当時数	配当学期	
	視点※1							
	A	B	C	D				
巻頭詩					表2-1			
たがいにみとめ合うって？	1 どうとくが始まるよ	○	○	○	○	内容項目を限定しない	4-9	1
	2 あいさつ名人		○			礼儀	10-13	1
	3 きらきらカード ※2			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	14-17	1
	4 日曜日の公園で		○			相互理解、寛容	18-21	1
	5 道夫とぼく			○		公正、公平、社会正義	22-25	1
	〈コラム〉友だちとのかかわりについて考えよう	○	○	○		善悪の判断、自律、自由と責任／友情、信頼／相互理解、寛容／公正、公平、社会正義	26-27	
	6 よごれた絵	○				正直、誠実	28-31	1
	〈心を通わそう〉「ほかほか言葉」をかけてなかよくなろう		○			親切、思いやり	32-33	
	7 友だち屋		○			友情、信頼	34-43	1
	8 教えてあげる？ 持ってあげる？		○			親切、思いやり	44-47	1
	どうとくでつかうことば ※2						48	
	9 やめられない	○				節度、節制	49-53	1
	〈コラム〉インターネットにむちゅう	○				善悪の判断、自律、自由と責任／節度、節制	54-55	
	10 マリーゴールド ※2			○		勤労、公共の精神	56-59	1
11 生きている仲間				○	生命の尊さ	60-63	1	
かんじょう いのち				○	生命の尊さ	64		
12 ヤゴきゅう出大作戦				○	自然愛護	65-69	1	
〈コラム〉里山を守ろう				○	生命の尊さ／自然愛護	70-71		
人や社会に目を向けるって？	「考える」じゅんびたいそう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	72-73	
	13 目の前は青空		○			友情、信頼	74-77	1
	14 たてわりはんそうじ		○			相互理解、寛容	78-81	1
	15 大切なものは何ですか				○	生命の尊さ	82-84	1
	16 黄金の魚	○				節度、節制	85-90	1
	17 三人の仕事			○		勤労、公共の精神	91-93	1
	18 きまりのない国			○		規則の尊重	94-97	1
	なんたろう なんたろう	○				正直、誠実	98-99	
	19 三年元気組	○				個性の伸長	100-103	1
	20 言わなきや	○				善悪の判断、自律、自由と責任	104-106	1
	21 なおとからのしつもん			○		公正、公平、社会正義	107-109	1
	22 モンたんケロきち	○				正直、誠実	110-114	1
	23 とくじーのおまじない		○			感謝	115-118	1
	24 ふろしき			○		伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	119-123	1
自分をのばすって？	学びのじゅんび				○	感動、畏敬の念	124	
	25 まわりを見つめて ※2						125-126	1
	26 マサラップ			○		国際理解、国際親善	127-131	1
	27 親切がいっぱい		○			親切、思いやり	132-133	1
	〈コラム〉くらしの中のユニバーサルデザイン		○	○		親切、思いやり／国際理解、国際親善	134-135	
	学びのじゅんび	○				個性の伸長	136	
	28 「わたしらしさ」をのぼすために						137-139	1
	29 学校のぶどう			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	140-143	1
	30 ボールのきまり			○		規則の尊重	144-147	1
	31 やわむし太郎	○				善悪の判断、自律、自由と責任	148-152	1
32 漢字に思いをこめて			○		家族愛、家庭生活の充実	153-156	1	
33 ありがとうの気持ちをこめて		○			感謝	157-161	1	
34 ヌチヌグスーじ ――命の祭り				○	生命の尊さ	162-167	1	
35 スーパーパティシエ物語	○				希望と勇気、努力と強い意志	168-171	1	
〈ふろく〉学びの道具箱	○	○	○	○	内容項目を限定しない	172-173		
〈ふろく〉日本につたわる「くらしの道具」			○		伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	174-175		
合計時数							35	

※1 視点の内容 A：主として自分自身に関する事 B：主として人との関わりに関する事 C：主として集団や社会との関わりに関する事
D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

※2 はユニット構成となっていることを示す。